

ちょうちょはやくこないかな

甲斐信枝 作



福音館書店 1997年 743円

ちいさな花が、ちょうちょを待っています。しかし、ちょうちょたちは、他のおおきな花の方に行ってしまいます。「はやくこないと、はながちっちゃうよ。」と心配するちいさな花に、やっと、ちょうちょが来てくれました。白地に写実的に描かれた花とちょうちょが、精密で美しい絵本です。「さようなら、あしたもきてね」で終わる、絵と一体となった単純なストーリーが、子どもに深い満足感を与えてくれます。

どうぶつのおやこ

藪内正幸 画



福音館書店 1966年 743円

猫、うさぎ、犬と身近な動物からはじまり、さる、熊、かばと子どもたちが好きな動物の親子の絵本です。絵は、毛や肌の質感までわかるように精密で、それぞれの親子のしぐさに、その動物の特性までが、描かれています。凶鑑の挿絵画家でもある著者の描く動物は、写実的で、臨場感にあふれています。動物好きの子どもにおすすめです。同じ著者で「どうぶつのおかあさん」などがあります。

とんでけとんでけおおいたい！

梅田俊作／佳子 作・絵



岩崎書店 1980年 900円

みえちゃんの「いたい いたい」を、おかあさんが、おにいちゃんにとばします。おにいちゃんは、イヌのブルへ、イヌのブルは…。小さな赤い星で表現された「いたい いたい」があちこちにとんでいきます。最後は「ばっくん おかあさんが たべちゃった！」。おまじないが楽しい絵本になりました。やわらかい色調のシンプルな絵が、動物たちや、みえちゃん、おかあさんの表情を描きだしています。